

「カンザスシティのレストラン」

後藤颯太

<初めに>

カンザスシティのレストランに行った際に感じた、日本との違い

- ・ 食べ残しを分別せずに捨てる
- ・ 食べきれなかったものは持ち帰る
- ・ 飲み物が減っていたら、言わなくてもウェイターが新しいものを持ってきてくれる

①Sushi restaurant

日本の寿司とは全く違い、派手で、衣をつけて揚げているものまであった。アボカドの使用率が高い。店員（店主？）は鮮度の高い魚が手に入らないと言っていた。値段は物価の違いを考慮しても高く感じる。（マグロー貫 \$ 5.25 !）



②メキシコ料理店



ここではタコスを食べた。お米と謎の半個体のソース(?) もついていた。お米は日本のものと違って固いけれど美味しく、謎のソースも見た目の割にあっさりして食べやすかった。

③イタリア料理店

この店では前菜として「エスカルゴ」に挑戦した。殻からは出されていたものの、やはり少しためらう見た目。しかし、食べてみると想像以上に美味しい。食感が少し苦手だったがパイと一緒に食べることで完璧な料理となった。主食が出てきた際には店員さんがチーズスライサーを持っており、好みの量までチーズをかけてくれた。



④BBQ

カンザスシティといえばBBQ。しかし、日本のBBQと違い、アメリカのBBQは店で食べる料理の一種。私が食べたのは肉と食パンだけの超シンプルサンドイッチ。やはり美味しかったが、想像以上に量が多く半分しか食べられず。



⑤ファストフード

McDonald'sの味は日本と変わらなかった。しかし、ドリンクバーがあったり、注文が全て電子パネルからだったり、設備面では日本との違いも見られた。また、団員のうち一人がキリスト教の勧誘の紙を渡されていた。